

第8回

太陽系外惑星及びその母体となる原始惑星系円盤のすばる望遠鏡による観測的研究

眞山 聡 氏

(総合研究大学院大学)

1995年の初検出報告以来、この20年間で1000を超える数の太陽系外惑星が検出されている。これまで検出された惑星は、太陽系とは異なる惑星も多く、惑星の多様性の起源、さらには惑星の形成方法については、未だよく理解されていない。

本講演では、すばる望遠鏡等を用いた、太陽系外惑星とその形成母体となる原始惑星系円盤の観測的研究プロジェクトを説明し、それによって明らかになってきた、星・惑星系形成の観測的研究最前線を紹介する。



Photo by Sean Goebel - Subaru Telescope, NAOJ

5月12日(木) 16:30-18:00

武蔵野大学有明キャンパス, 4号館 4階 403室

事前登録不要・参加無料: どなたでも自由にご参加いただけます。

りんかい線「国際展示場駅」徒歩7分



組織委員: 薩摩順吉, 阿部修治, 西川哲夫, 渡辺知規,
木下修一, 田中健一郎, 友枝明保, 松家敬介, 八島亮子

問い合わせ先: 武蔵野大学数理工学センター
<http://matheng.jp/>

